

30年の歴史を振り返り、さらに前へ！ 結成30年記念大会開催

結成から30年組織破壊との闘い

私たちJR東海労名古屋地本は、7月13日第31回定期大会を名古屋「ワークライフプラザ・れある」で開催しました。丹羽副委員長が開会を宣言し、議長に名古屋運輸区分会の鈴木一幸さんを選出して大会が開始されました。



冒頭の荻野地本委員長は「30年間、常に組合員の利益を守るため奮闘してきた。働く者を犠牲にし現場の苦労をないがしろにする会社との闘いの連続であった。労働組合として当然の立場を貫いてきた歴史であった。このような歴史を振り返りさらに前を向いてすすむ。」力強くあいさつしました。

東海労が無くなればJR東海から労働組合が消える

来賓として中央本部執行委員として奮闘する、東海地区分会の松山さんから挨拶を受けました、東海労に加入して今年で10年を迎える松山さんは、職場で会社の利益しか優先しない東海ユニオンの組合員に対し、「そんな東海ユニオンの組合員のみでいいの未来はないぞ。」と訴えています。その通りだと思います、JR東海労に加入する以外彼らの未来は明るくならないのです。

職場での報告を参加者からうける

職場の報告を参加者全員から受け、執行部より答弁がなされました。加藤中央執行委員より感想が述べられ、御辺書記長から「どんな攻撃があろうと、労働組合として当たり前前の闘いを進める」と総括答弁を受け運動方針は参加者全員で承認されました。

荻野委員長の団結ガンバローで成功裡に大会は終了しました。参加された組合員の皆さんお疲れ様でした。

